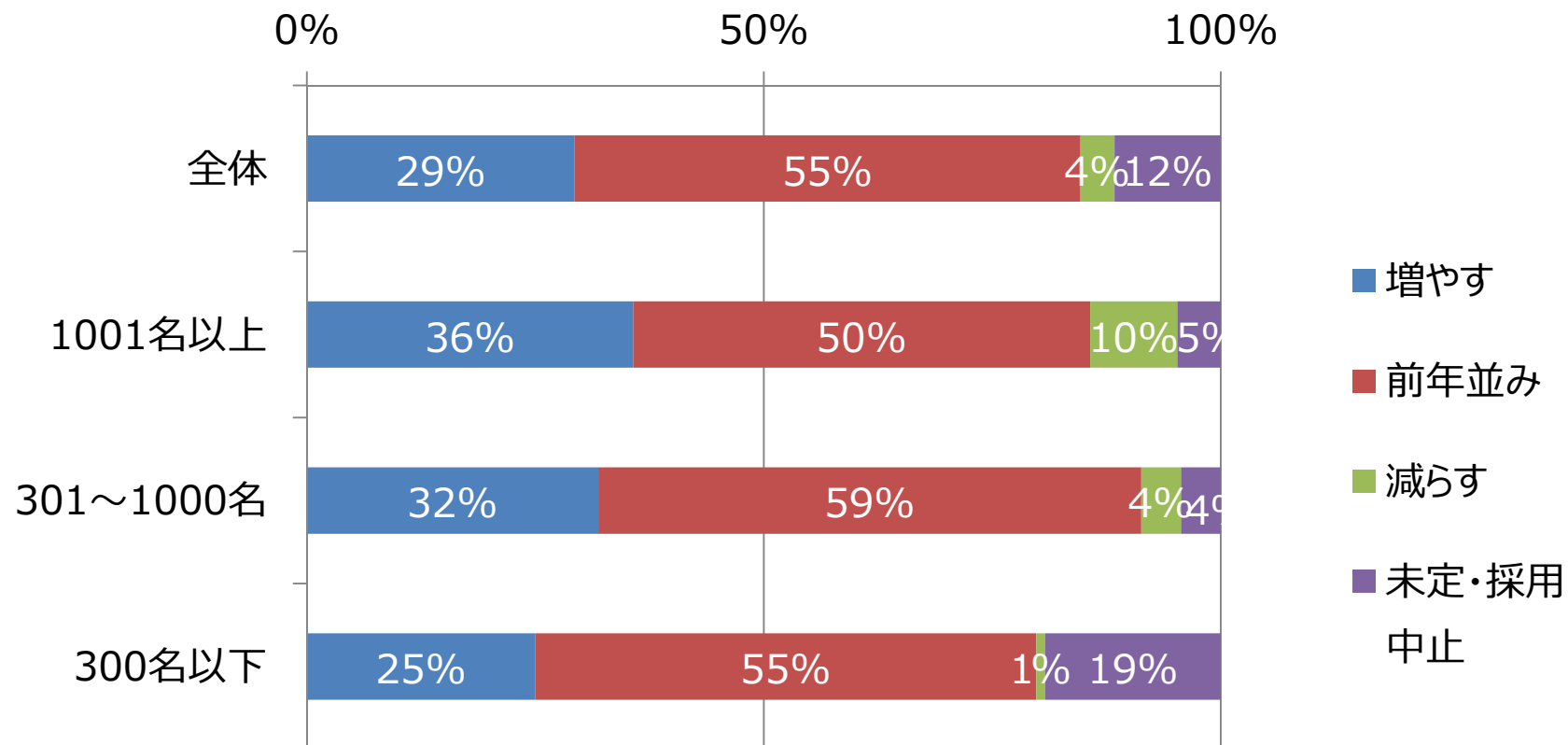


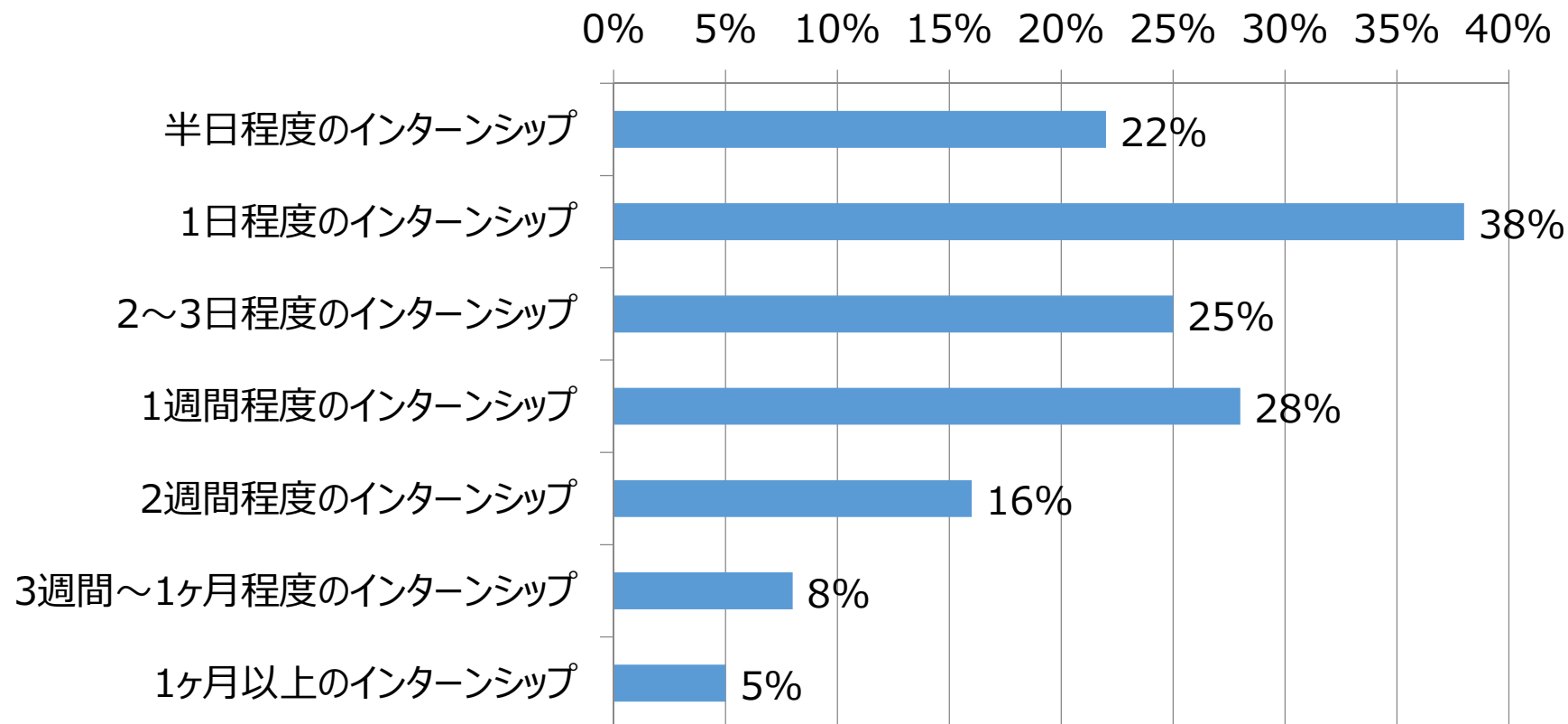
2018年新卒採用戦略策定のための 2017年新卒採用徹底解剖DATA

ProFuture
HR総研



採用人数は増加傾向

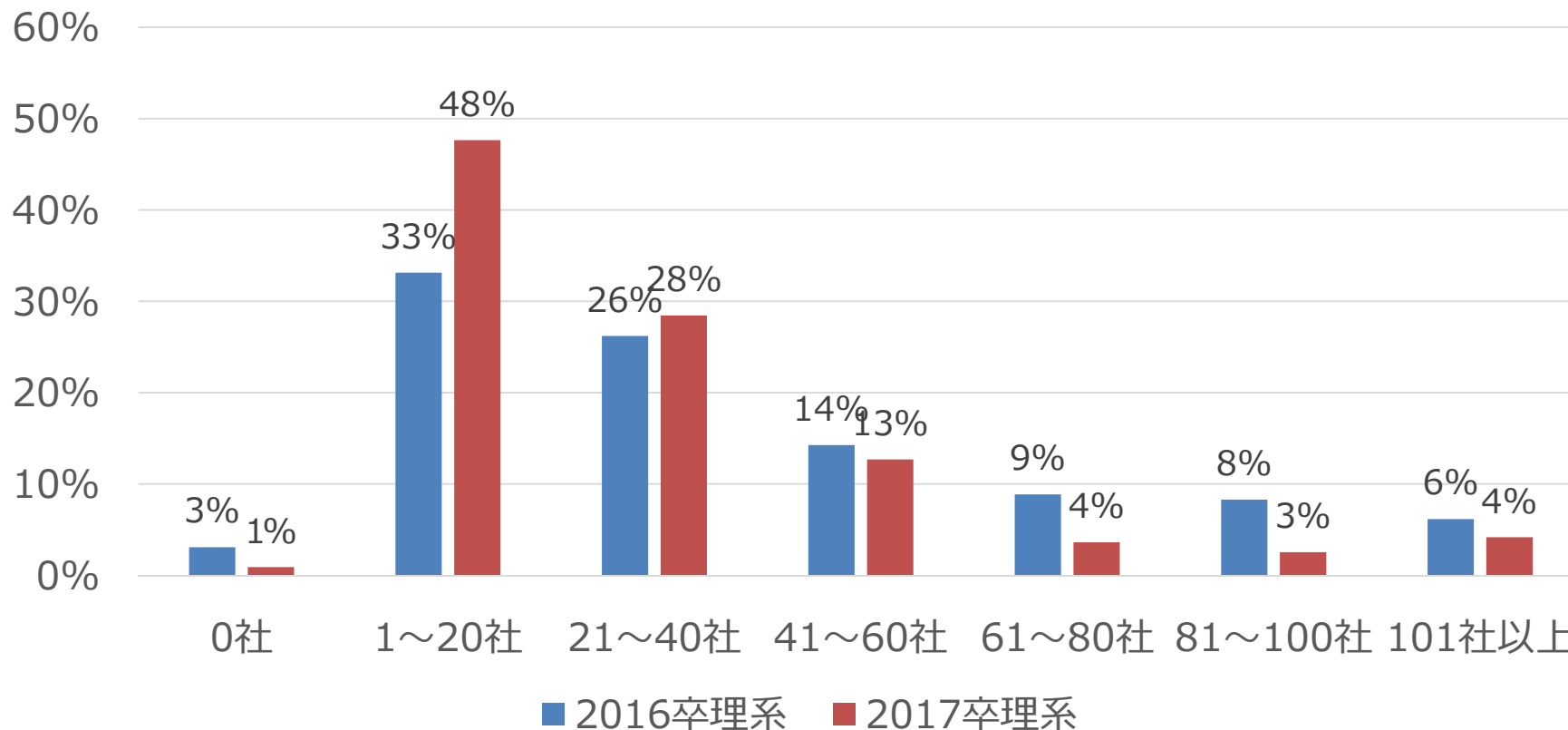
「増やす」と回答した企業は全体で3割。「減らす」はどの規模でも数%にとどまり、引き続き増加傾向であることは明白。大手では採用増が目立つが、「減らす」も他の規模よりも多い。



倍増した「半日程度のインターンシップ」

「半日程度のインターンシップ」は、前年の11%から22%へと倍増。2時間程度のものも多く、学生はセミナーに参加するかのよう、1日で複数社のインターンシップをはしごすることも。

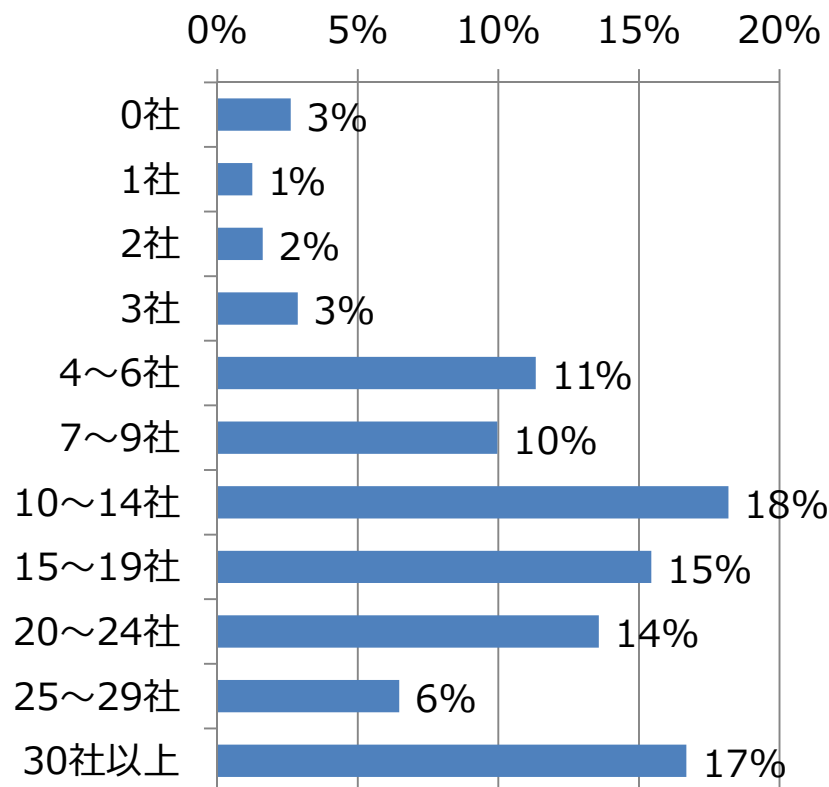
- 書類選考(エントリーシート)の免除
- 当社に対する研究度・志望度が高いものと判定し、選考でボーダーラインにある学生は救済する
- 面接担当者へインターンシップ時の評価情報を伝達
- 自由応募とは別枠で対応する
- アルバイト等での登用
- 面接等を軽減する
- 二次選考に進める
- リクルーターを貼りつける
- 二次、三次のインターンシップの案内



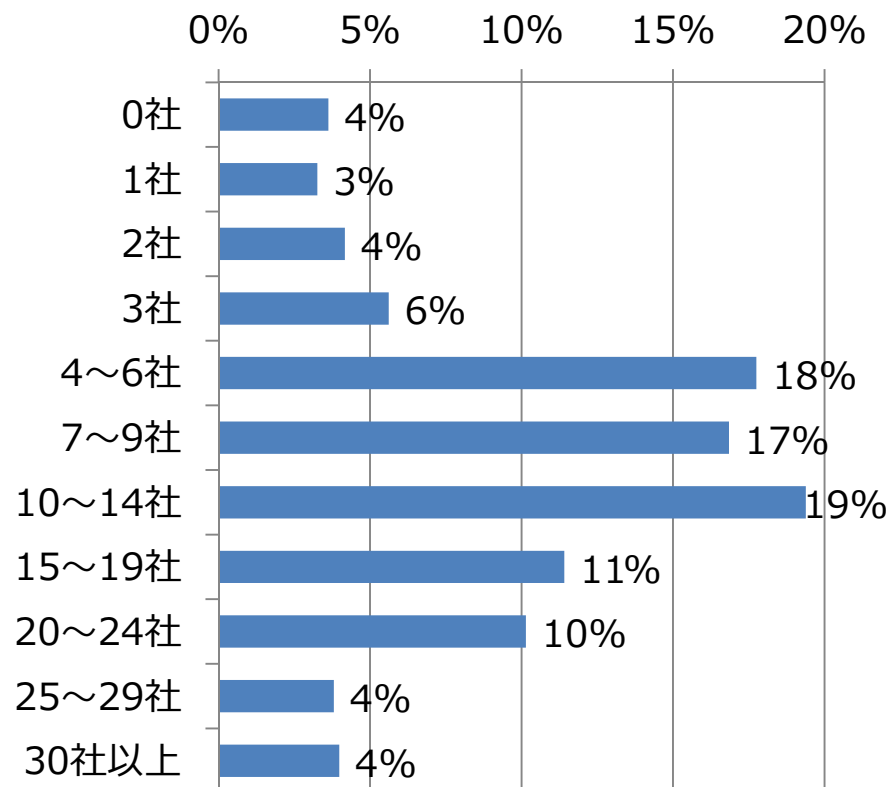
理系でもプレエントリー社数は大きく減少傾向

理系でも「41社」以上にプレエントリーした学生が前年よりも軒並み減少。逆に「20社以下」の学生は5割に迫る勢い。プレエントリー自体を絞り込む学生が多い。

【文系】

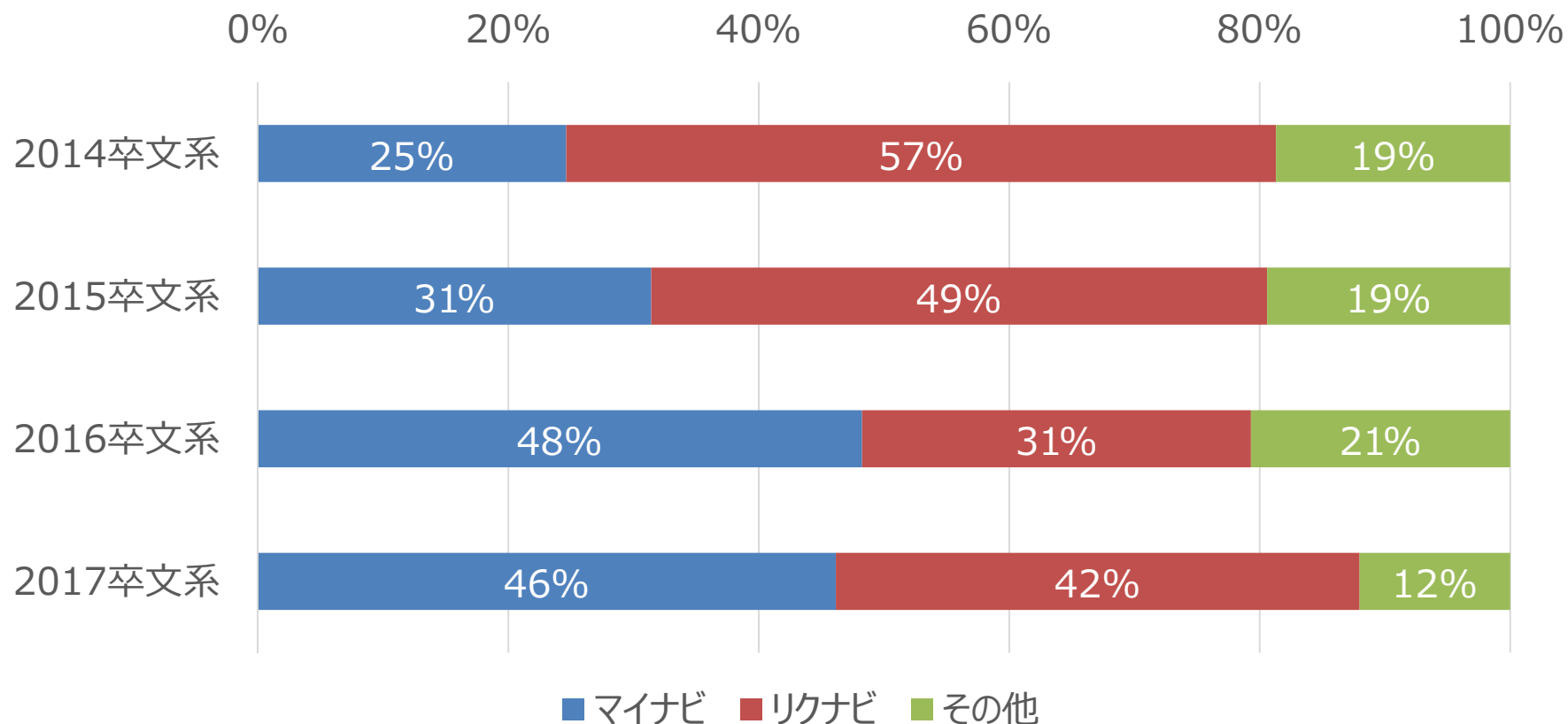


【理系】



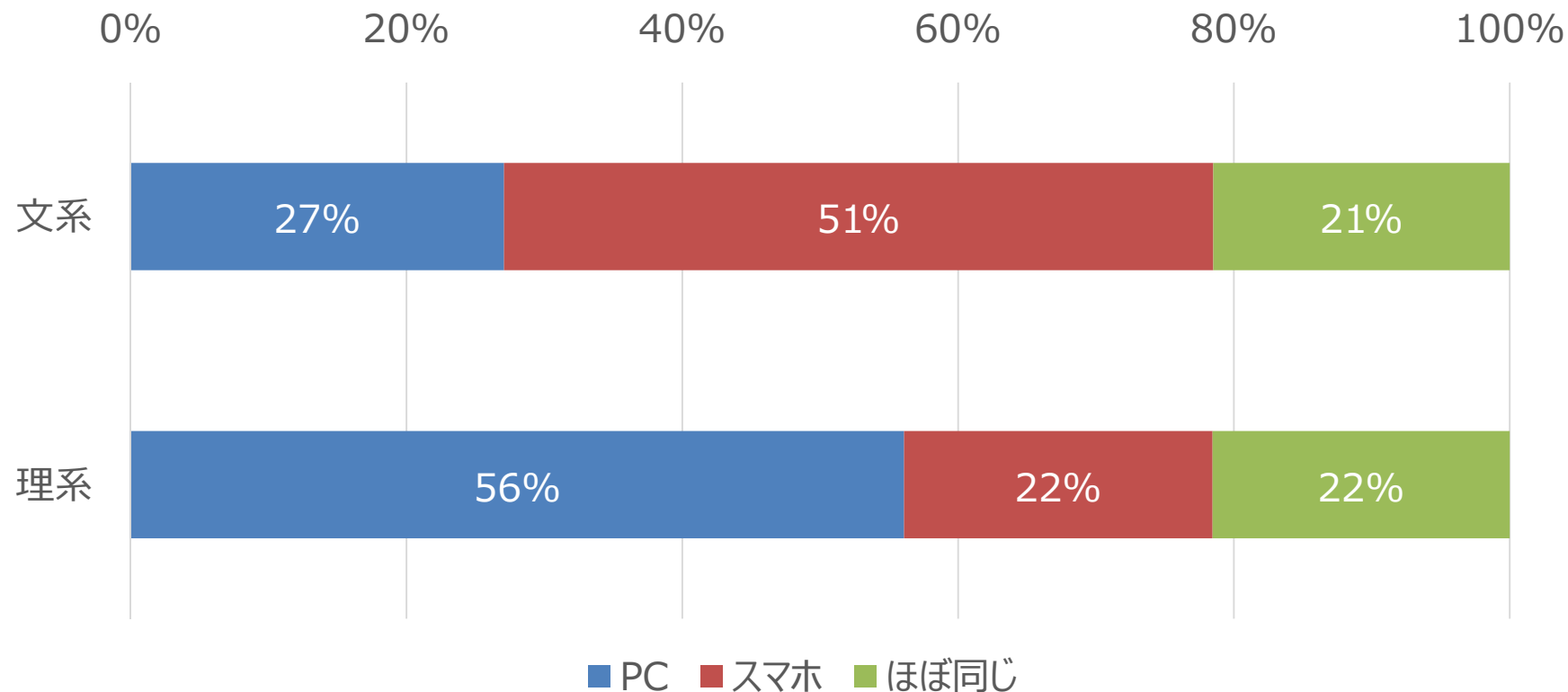
最多回答は「10～14社」

文理ともに最多回答は「10～14社」で2割近くになる。次いで多いのは、文系では「30社以上」だが、理系で「30社以上」は少なく、「4～6社」「7～9社」と続く。



「マイナビ」が「リクナビ」をリード

昨年、文系学生の最も活用する就職ナビでは、「マイナビ」が「リクナビ」を逆転し、「リクナビ」は掲載社数を大きく伸ばすも、今年も「マイナビ」がリード。



文系は圧倒的にスマホで就活

理系は普段の環境でもPCを使用する機会が多く、就活においてもPC中心であるが、文系ではスマホが過半数を占める。今後はスマホでの閲覧・利用を意識したつくりはマストになる。